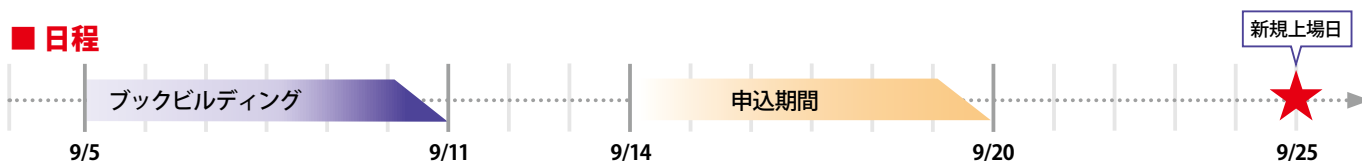


IPO銘柄 エー・ピーカンパニー (3175・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
3175	100株	公募: 35.0万株 売出: 19.5万株 (OA8.17万株)	2,150円~ 2,350円 (12.7倍)	野村証券

■ 日程



「塚田農場」を主力に外食ブランド展開、生販直結のモデルに特長

■ 事業内容

宮崎県産地鶏を用いた居酒屋「塚田農場」が主力。生販直結モデルを掲げて自社農場で生産された食材を活用。12年7月末時点の店舗数はライセンス店44店を含めて127店。地鶏用の加工場、雛センターなども抱え、ライセンス店やグループ外企業への食材の販売も手掛けている。販売事業では地鶏料理の「塚田農場」のほか、鮮魚の「四十八漁場」、もつ鍋やホルモン焼きの「芝浦食肉」なども運営。客単価は中価格帯に属する4,000円程度。13年3月期第1四半期の売上高構成比は、外食店運営の販売事業が91.2%、食材流通の生産流通事業が8.8%。

■ 特徴

生産流通事業では地鶏や鮮魚の生産流通が主力。自社設備による一貫生産体制を構築している地鶏に対し、鮮魚では当日朝に水揚げされた水産物を夕方に店舗に届ける「今朝獲れ便」を活用しながら、卸売市場などを経由しない、漁師や漁協との直接取引を順次拡大。各地の漁業生産者との直接ネットワークを構築する一方、漁協との共同経営による定置網漁業も開始している。

アナリストコメント

■ 定量分析

13年3月期の連結経常利益は前年比53.6%増の7億1,000万円を計画する。販売事業で「塚田農場」を中心とした新規出店を継続的に行っている。同社初のロードサイド店も群馬県伊勢崎市に出店。首都圏以外の地域へエリアを拡大させていく方針を掲げている。

■ 定性分析

外食企業の新規上場はここ数年、案件数自体が少なくサンプルが足りない状況ながら、人気化しやすいセクターではない。ただ、足元の成長率の高さが評価されて仮条件の上限は目論見書記載の想定発行価格を上回る水準に設定されるなど、事前人気は高い。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は14.7億円。マザーズ上場案件としては軽量級の部類には入らない。ただ、株主は従業員など個人株主で占められており、公開株式以外の株券が市場に流通する可能性はほぼゼロとなっている。

(小泉健太)

■ 類似企業

エー・ピーカンパニー(3175・マザーズ)	予想PER12.7倍 (仮条件上限)
ダイヤモンドダイニング (3073・JASDAQ)	予想PER5.0倍
ハブ (3030・JASDAQ)	予想PER8.8倍

■ 引受証券

野村証券、みずほ証券、いちよし証券、SBI証券、SMBC日興証券、岡三証券、大和証券、極東証券、高木証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
11年3月期(実績)	5,233	—	192	—	111	—	55.7	—
12年3月期(実績)	8,320	59.0	462	2.4倍	218	96.4	109.4	—
13年3月期(会社予想)	11,219	34.8	710	53.6	413	89.4	185.7	—

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
11年3月期	400,000	2,733	246	20	120.6	8.8	60.1
12年3月期	408,850	4,591	489	28	233.7	10.4	60.9

大株主上位 (上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	米山 久	1,415,000	69.22
2	MTRインベストメント	250,000	12.23
3	吉野 勝己	75,000	3.67
4	大久保 伸隆	46,000	2.25
5	野本 良平	40,000	1.96
6	里見 順子	40,000	1.96
7	エー・ピーカンパニー従業員持株会	36,750	1.80
8	天野 裕人	10,000	0.49
9	綱嶋 恭介	10,000	0.49
10	里見 英子	10,000	0.49

経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	米山 久
常務取締役(営業本部長)	大久保 伸隆
常務取締役(管理本部長)	吉野 勝己
取締役(流通本部長)	野本 良平
取締役(企画本部長)	里見 順子
取締役(開発本部長)	川俣 雄二
監査役(常勤)	米田 満
監査役(非常勤)	橋岡 宏成
監査役(非常勤)	佐藤 信之

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者
登録番号：関東財務局（金商）第 44 号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会